

病気の説明と避難指示

副院長 すずか 鈴木 ともなお 知直

テレビのニュースで台風や洪水の映像が流れ避難救助を待っている姿を見ると、早く救助をと思いながら、もっと早く避難していればとも感じ日常の診療でも同じような場面があるなと思いました。それは、動脈硬化など病気は始まっている、まだ症状が出ていない方たちの治療の場面でした。

動脈硬化の進行や悪化を促進する高血圧などの危険因子は、それ自体は症状が目立たなく、治すのではなく管理をする必要のある病気で、放置すると最終的には脳梗塞や心筋梗塞あるいは血液透析や四肢の循環障害など重篤な状態となり、こんなはずではなかったと気がつきます。それは、避難勧告・指示などで多くの方が避難するなか、様子を覗こうとし、想像を超える変化に救助を

求めることになっている場面とよく似た印象です。

気象予報も以前は当たらないことがありましたが(失礼!)、最近の予報は情報量も多く、今後どのようなことが起こるの



か、どの程度の危険があるのか、どのような対策が必要なのかが表示されます。それに基づく被害想定も正確になり、被害を最小限にという姿勢から行政の指示はより早期から積極的になっている印象です。

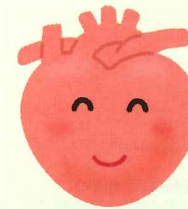
病気の診断・治療も然りです。診断されたらなるべく症状(被害)を最小限度にと患者さんに説明します。強く言い過ぎて動揺を与え慌てさせないように、十分理解してもらえよう配慮しますが、やはり日常生活の改善(非難勧告)や内服治療・処置(避難指示)などわかってはいても行動に移せない患者さんはいます。自治会の方などに促されて避難する方々の姿を見ると、我々も繰り返し説明・指導していかなければと思います。説明とは、相手に理解してもらい手を借りてでも自ら行動に出てもらって初めて意味のあるものになることをテレビを観ながら実感しました。



認定看護師の紹介

慢性心不全看護
認定看護師

いとう かずゆき
伊藤 和幸



●慢性心不全看護とはどのようなケアをするのですか?

心臓に病気をもつ全ての患者さんを対象としています。

心臓は、病気になって一度その働きが悪くなると、なかなか元通りにはなりません。心臓の働きが回復するまでは、その悪くなった心臓と付き合いながら日常生活を送ることになります。心臓の病気は時には死につながることも多いため、患者さんの中には毎日不安とたたかっている方も少なくありません。そのような患者さんやご家族が、安心して、少しでも長く家族のもとで生活できるようにサポートしたいと考えています。

●どのようなことを心掛けて看護をされていますか?

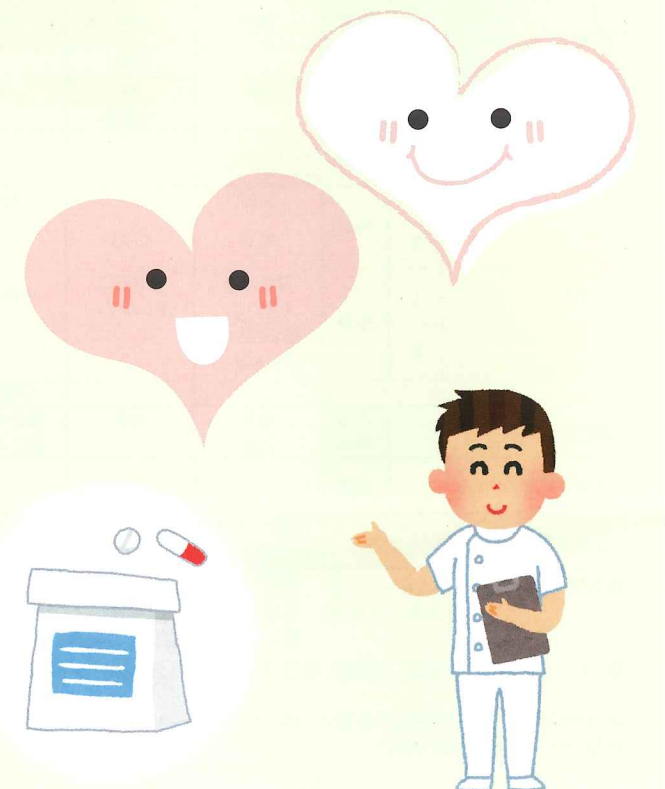
心臓の病気の患者さんは、薬を飲むだけでなく、適切な食事や運動などの生活習慣の改善が必要になる



ことも少なくありません。しかし長年つちかってきた習慣を変えることは容易ではありません。また心臓の病気の苦しさは表面からはわからないため、周囲の理解を得られずに苦しむ患者さんもいらっしゃいます。そのような患者さんやご家族の思いを尊重して、患者さんやご家族ができることを、なるべく具体的にお伝えするように心掛けています。

●患者さんや患者さんのご家族へメッセージをお願いします。

- 運動を勧められたけど、どのような運動をどの程度すればよいの?
 - 食事に気をつけるように言われたけど、今の食事をどう変えればよいの?
 - もう症状は無いんだけど、まだ薬は飲まなければいけないの?
- など、日常生活のなかで疑問に思うことや、どのようにすればよいかわからない時には、ぜひ一度ご相談ください。



やさしい 疾患手帳

【アンコール掲載】
2014年2月号掲載

心臓弁膜症

循環器内科医師 まつなり 松成 まさよし 政良



Profile プロフィール

- 所属…循環器内科
- 専門分野…循環器一般
- 認定医・専門医等…日本内科学会認定医

心臓は、血液を送り出すポンプの役割を担っていますが、血液の送り出しがスムーズかつ逆流がないよう、心臓内には弁という扉が4つ(大動脈弁、僧帽弁、三尖弁、肺動脈弁)存在します。心臓弁膜症とは、弁の開きが悪くなる狭窄症と、弁の閉じ合わせが悪くなり逆流する閉鎖不全症の総称です。そこで、ここでは近年増加している①大動脈弁狭窄症と②僧帽弁閉鎖不全症について解説します。

①大動脈弁狭窄症:大動脈弁の開きが悪くなるためにおこる病気です。原因は、以前はリウマチ熱が多かったのですが、現在は動脈硬化による高齢の方が増えています。症状は、心不全症状(動いたときの息切れ、呼吸困難、浮腫)、胸痛、失神があります。

②僧帽弁閉鎖不全症:僧帽弁のとじ合わせが悪くなるためにおこる病気です。原因は、以前はリウマチ熱が多かったのですが、現在は僧帽弁逸脱(弁の落ち込み)によるものが増えています。症状は、進行すると心不全

症状を呈します。

心不全症状は薬物治療で改善しますが、心臓弁膜症の根本治療としては手術しかないと言われていたもので、早期の発見、診断が重要です。心雑音を指摘されたら、心臓超音波検査を受けましょう。手術の適応があるかどうかは、主に心臓超音波検査で決まります。

当院では3D表示も可能な機器を導入しています。ぜひ検査を受けてみてください。

